

令和2年5月22日

保護者の皆様

鹿屋市立細山田小学校
校長 小倉 康夫

フッ化物洗口における洗口液濃度の誤りについて（お詫び）

昨日、フッ化物洗口を実施しましたが、誤って通常用いるよりも高い濃度の洗口液を使用しました。洗口液は、水と区別するためシナモンで味付けしており、口に含んだ時点で味の変化に気づいた児童から担任に申し出がありましたので、吐き出させ、すべてのフッ化物洗口を中断いたしました。

中断後は、各担任の指示で児童に水でうがいをさせ、体調の確認等を行いました。洗口液を飲み込んだ児童は、一人もいませんでしたが、うがいの後、気分が良くないと申し出た児童2名については、マニュアルに基づき経過を観察しました。その後は特に異常は確認されず、本日も元気に登校しております。ご迷惑をおかけしましたが、今後は、引き続き体調を確認し、適切に対応いたします。他の児童につきましても学校で、体調について確認をしておりますが、御家庭において昨日から体調不良が続くなどの状態がありましたら、学校へ御相談ください。

なお、今回の誤った洗口液の濃度は、通常の4倍のもので、洗口時にすべて飲み込んでも健康被害等の心配はないとされる量でしたが、今回のことを機会に、フッ化物洗口の手順等について全職員で再度確認し、今まで以上に細心の注意を払ってまいります。

今回私どもの不注意により児童や保護者の皆様に多大な御心配をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。